



小中一貫教育通信 バトン

第2号 令和7年3月発行

発行者 豊小学校 豊浜中学校

小中一貫教育推進連絡会

令和6年度豊浜中学校区小中一貫教育研究テーマ

主体的・対話的に深く学び、思いを表現する児童生徒の育成 ～全ての子どもが「分かる・できる」ための工夫の充実～

小中一貫合同授業研究

10月8日(火) 豊浜中学校にて
11月29日(金) 豊小学校にて

10月8日(火)豊浜中学校にて、8年生を対象に上本先生、吉中先生、卒業生の山根 壮一朗さん(ゲストティーチャー)による総合的な学習の時間の合同授業研究が行われました。

8年生は、「よりよく生きていくための職業とは何だろう」というテーマで1年間学習をしてきました。はじめは、「働く」ということに対するイメージを具体的に持つことができない生徒がほとんどでしたが、ゲストティーチャーの方のお話を聞いたり、職場体験で実際に働いてみたりしたことで、全員が「幸せに働く」とことについての自分なりの意見をもつことができました。

事後協議会では、小中の教員で協議を行いました。生徒が身近な先輩から「実際の『職業選択』の手順や悩み、重視したことを聞き、自分事として捉えようとしていた」、「年齢が近く身近な先輩で親しみやすかった」といった意見や感想がありました。

職場体験活動や、職場体験の事前事後学習に協力していただいた地域の皆様、本当にありがとうございました。



11月29日(金)には豊小学校の5,6年生複式学級で同じく総合的な学習の時間の合同授業研究会が行われました。

今年度、5,6年生の総合的な学習の時間では、御手洗町並み保存地区について調べ、その継承に力を注ぐ人々と関わる活動を通して、御手洗地区の魅力や価値をより深く理解し、地域の一員として自分たちにもできることを考え、実行するという学習を進めてきました。

この日は、12月6日に蒲刈小学校6年生に対して観光ガイドをするにあたり、「相手により分かりやすく伝えるための工夫を考える」という授業内容でした。ゲストティーチャー(修学旅行でお世話になったバスガイドさん)からのビデオメッセージをもとに課題意識を高め、グループごとに意見を出し合いながら、ガイドのレベルアップを目指していました。

事後協議会においては、小中の教員で協議を行い、呉市教育委員会の玉井孝明指導主事様から多くのご指導、ご助言をいただきました。



新入生説明会

1月24日(金)
豊浜中学校にて

1月24日(金)、豊浜中学校で新入生説明会が行われました。

6年生は、豊小学校から豊浜中学校までバスで移動し、図書室で最初に豊浜駐在所の警察官の方から、スマートフォン等を使うときの注意点などについてのお話を聞いた後、中学校生活についての説明を受けました。

会の終了後には、体操服等の採寸を行いました。採寸終了後、ソフトテニス部の部活動体験があり、7年生や8年生に教えてもらいながら、一緒に体を動かしました。

6年生のみなさん、約1ヶ月後には中学生です。しっかり心の準備をしておきましょう!



乗り入れ授業

中学校の教職員が、小学生に対して授業を行う乗り入れ授業。今年度も、5・6年生を対象に行われました。

5・6年生は、授業の最初は緊張した様子でしたが、授業中盤になってくると少し緊張もほぐれ、楽しそうに学ぶ様子が印象的でした。

5・6年生が授業を受けた感想の中には「社会で、いろいろな県の名物を知れてよかった」「数学は難しかったけど、その問題が解けて楽しかった」「英語で、友達と好きなものをたずねたり答えたりするのが楽しかった」などがありました。

小学生が中学校での学習に興味や期待をもつことができ、中学校の教職員が小学生の様子を知ることができるよい機会となりました。



ほめほめカード

豊浜中学校区では、将来にわたって、意欲的、主体的に活動できる力を育成すべく、小中合同行事や地域との交流の場、異学年との関わり合の場をもち、達成感を味わわせることで「自己肯定感」を高める取組を行っています。

今年度は、1学期の小中合同運動会で小学生が中学生に、中学生が小学生に、頑張りをたたえ合う「ほめほめカード」の交換を行いました。2学期には、中学校では、文化祭で、参観していただいた皆さんや生徒同士、教職員からの「ほめほめカード」をつくり掲示しました。小学校では、文化祭の中学生の合唱を映像で見せていただいて感想を届けたり、「ほめほめ週間」を設定し、よさを認め合う「ほめほめカード」の掲示をしたりしました。

これからも、将来にわたりたくましく生き抜いていく児童生徒の育成をめざし、小中が協力して取り組んでまいります。

豊浜中



豊小

